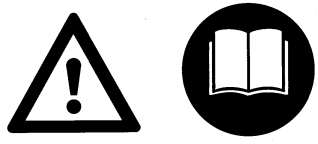
STIHL®

STIHL SE 61

Gebrauchsanleitung

Instruction Manual
Notice d'emploi
Instrucciones de servicio
Naputak za korišcenje
Skötselanvisning
Käyttöohje
Istruzioni d'uso
Betjeningsvejledning
Bruksanvisning
Instruções de serviço
Návod na obsluhu
Handleiding
Инструкция по эксплуатации
οδηγίες χρήσης
使用説明書
Instrukcja użytkowania
Kasutusjuhend
Eksploatavimo instrukcija
Instrucțiuni de utilizare
Uputstvu za rad
Navodilih za uporabo



目次

はじめに 212
安全に関する重要注意事項 213
用途 214
運転準備 214
電源へのバキュームクリーナーの
接続および使用 216
フィルター エレメントの掃除..... 218
コンテナを空にする 218
フィルター エレメントの交換 218
バキュームクリーナーを
使用しない場合 219
磨耗の低減と損傷の回避 219
故障の修理 220
主要構成部品 221
技術仕様 222
整備と修理 222
CE 適合証明書 223
品質証明書 223

お客様各位

この度はスチール社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存でおります。

製品に関して御質問がおありの際は、お買上げの販売店あるいは直接当社カスタマー サービスにお問い合わせください。

敬具

Hans Peter Stihl

CE

BA_SE_185_003_43_02.fm
無塩素漂白紙使用。
印刷インキは植物性油を含む。この紙はリサイクル可能です。
© ANDREAS STIHL AG & Co. KG, 2007
0458 646 9921. M5. H7. FST. Printed in Germany

STIHL®

はじめに

シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボルマークは、本取扱説明書で説明されています。

操作の説明にはイラストも参照してください。

段落の前に付いたシンボルや数字

操作の説明記述にはシンボルや数字が先行することがあります：

- 黒丸は、説明図とは直接関係しない作業の説明であることを、意味します。

説明図に直接関係する作業は、図中の該当する数字が説明文に付記されています。
例：

スクリュー (**1**) を緩めます
レバー (**2**) を ...

本取扱説明書では、操作に関する説明の他にも、重要な記述の前に以下のシンボルが示されています：

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

洗浄機の操作に不可欠ではないが、より理解し易く、且つ使いやすくするための注意事項。

環境に優しい使い方への注意。

* 製品内容 / 装備

本取扱説明書は、機能が異なる種々の型式に対応しています。機種によって装備されていない構成部品とその応用には (*) 印が付記されています。そのような部品は、スチール社販売店で特殊アクセサリーとして入手できるようにしています。

技術改良

当社は常に製品の改良と開発に努力しております。そのため、形状、技術、装備に関する変更を、ことわりなく行うことがあります。

そして、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合もあります。

安全に関する重要注意事項

一般的な注意事項

本機を使用するときは、特別な安全上の注意が必要です。電源への接続部では特に事故発生の危険があります。

本機の使用前に、すべての取扱指示をお読みください。次の安全上の注意事項を遵守してください。

作業開始前に、常にご使用のバキュームクリーナーが正常に作動して、良好な状態であることを、確認してください。電源ケーブルと電源プラグには特に留意してください。

このバキュームクリーナーは、正式な訓練を受け、認定を受けたオペレータだけが使用してください。未成年者は、絶対に本機を使用しないでください。

バキュームクリーナーを使用している場所に子供やペット、第三者を近づけないでください。

本機は、フィルター エレメントが損傷していない場合に限り、使用できます。

易燃性物質 (熱くなった灰、可燃性で爆発性がある粉塵、くすぶっている吸殻など) または可燃性液体 (ガソリン、シンナーなど) を決して吸い込まないでください。

本機は生理的に有害な粉塵の吸引には使用できません。

火事や爆発の危険

電源ケーブルを巻きつけたり、踏みつけたり、引っ張ったりして、損傷しないでください。

壁側コンセントからプラグを外す目的で、電源ケーブルを引っ張らないでください。必ず電源ケーブルではなくプラグを握って、抜いてください。

電源ケーブルが損傷したり、老朽化していないか、定期的に点検します。いかなる状態でも電源ケーブルが損傷していたら本機を使用しないでください。感電の危険があります。

電源ケーブルに損傷が認められた場合は、直ちに電源プラグを抜き取ってください。感電による生命の危険があります。

バキュームクリーナーを液体や濡れた物体の吸引に使用する前に、常にペーパー フィルター バッグを外して、フロートの動作を確認してください。必ずフィルター エレメントを使用してください。
泡ができるようになったら、すぐに作業を停止して、コンテナの中身をカラにします。

バキュームクリーナーにいかなる改造も加えないでください。非常に危険です。

取扱説明書に書かれている保守整備や修理作業だけを行ってください。その他の作業はスチール サービス店に依頼してください。

スチール純正部品だけを使用してください。

本機にあらゆる作業を開始する前に、必ず電源からプラグを抜いてください (電源の遮断)。

電源ケーブルの修理や交換は必ず、認可を受けた電気専門技術者に依頼してください。

すべての電源ケーブルのプラグとコネクタは、少なくとも防沫型でなければなりません。

機械の掃除や整備作業を始める、または部品を交換する前に必ず電源ケーブルのプラグを抜いてください。

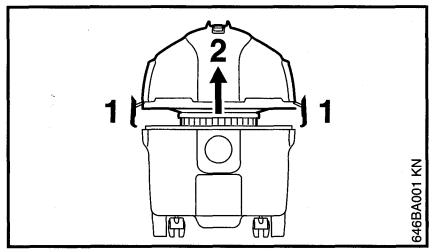
バキュームクリーナーの上部に水を吹き付けないでください : 人身事故を起こしたり、短絡する危険があります。

用途

下記を吸引します：

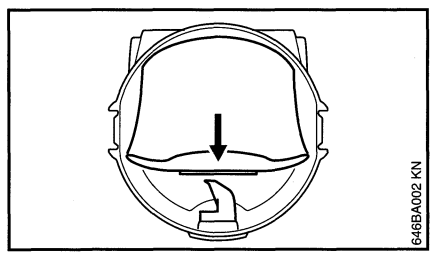
- 乾燥していて、不燃性の物体 (粉塵、ゴミ、破損したガラス、木材や金属の削りくず、砂など)
- 不燃性液体 (汚水、こぼしたジュースなど)

運転準備

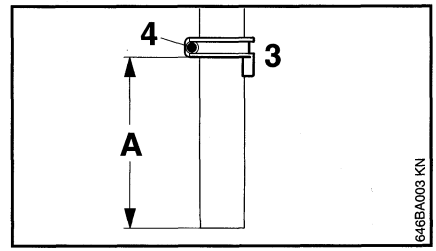


次の作業中に電源ケーブルをコンセントに差し込まないでください。

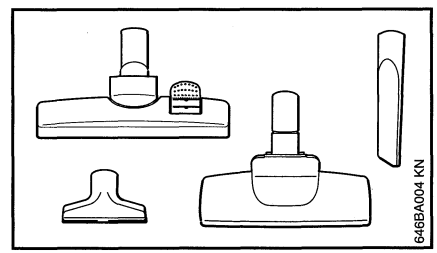
- クリップ (**1**) を外します。
- バキュームクリーナーの上部 (**2**) を垂直に持ち上げて、取り外します。
- アクセサリーをコンテナから外します。



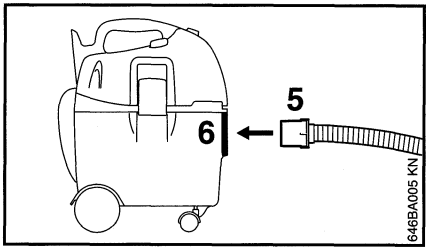
- フィルター バッグを差し込みます。
- フィルター バッグ コネクターを滑らせて、吸引コネクターまで差し込みます。
- バキュームクリーナー上部を取り付けます。



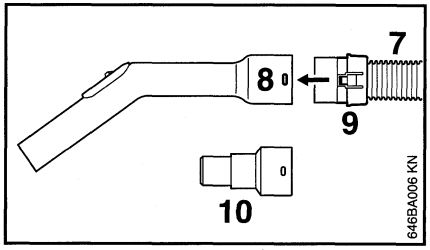
- ホルダー (**3**) をチューブ上に滑らせながら取り付けて (距離 A = 約 13 cm)、スクリュー (**4**) で固定します。



- 使用目的に必要なアクセサリーを選択して、延長チューブ下部に押し込みます。
- 補助延長チューブを反対の端に取り付けます。



- 吸引ホース (**5**) を吸引コネクター (**6**) に差し込みます。

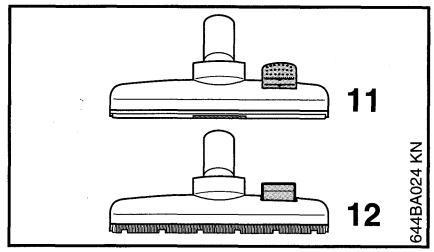


- 吸引ホース (**7**) をハンドル チューブ (**8**) に差し込みます。
- リング (**9**) をハンドル チューブに取り付けます。

SE 61 E

他種のパワーツールに取り付ける場合 (グラインダーなど) :

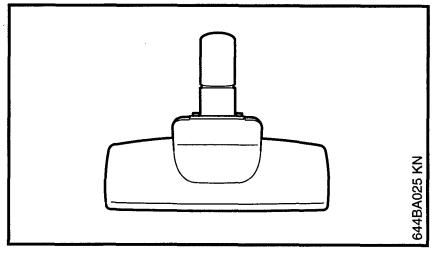
- ハンドル チューブの代わりに、パワーツール用アダプター (**10**) を、吸引ホースに取り付けます。



多用途アタッチメントを取付けます

- カーペット用 (**11**)
- 滑らかな床用 (**12**)

SE 61

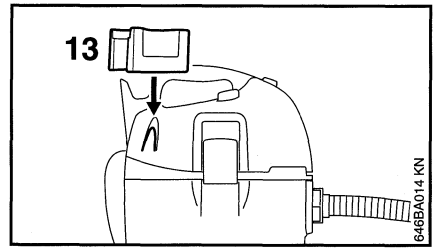


バリオ フロアー アタッチメント

調整の必要はありません

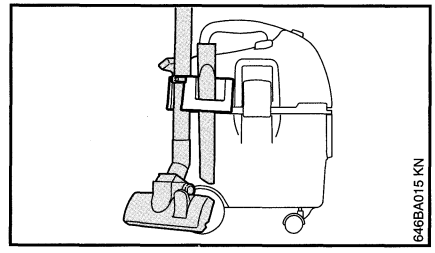
SE 61、SE 61 E

アクセサリー用ホルダーの取付け



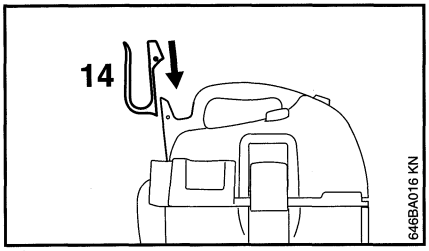
- アクセサリー用ホルダーのタブ (**13**) をバキュームクリーナーの左上部の取り付け部に、滑り込ませながら取り付けます。ホルダーが所定の位置にカチッとはまるまで押し込みます。

アクセサリーの取付け



電源へのバキュームクリーナーの接続および使用

吸引ホース用ホルダーの取付け



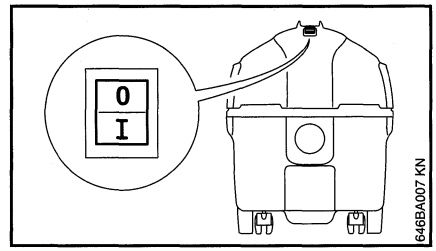
- 吸引ホース用ホルダー (**14**) をバキュームクリーナー上部のノーズに、カチッとはまるまで押し込みます。

本体の型式プレートに表記されている運転電圧が、ご使用になる電源の電圧と同一にしてください。型式プレートは吸引装置上部の背面に貼付されています。

- 適切に装備された電源コンセントに電源ケーブルのプラグを差し込みます。

電源延長ケーブルを使用する際は、ケーブルの最小導体断面積に注意してください。

ケーブルの長さ	導体断面積
最大 20 m	1.5 mm^2
最大 50 m	2.5 mm^2



SE 61

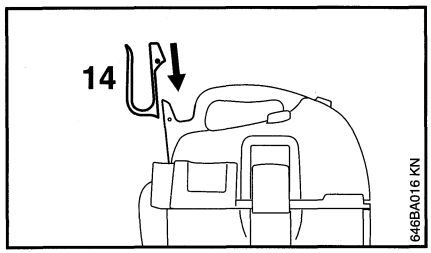
スイッチの設定

0 = バキュームクリーナーがオフ

I = バキュームクリーナーがオン

電源へのバキュームクリーナーの接続および使用

吸引ホース用ホルダーの取付け



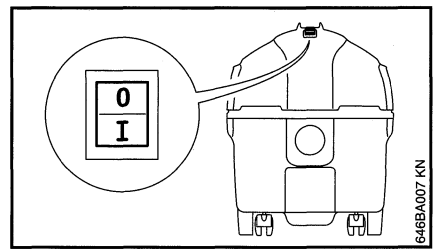
- 吸引ホース用ホルダー (**14**) をバキュームクリーナー上部のノーズに、カチッとはまるまで押し込みます。

本体の型式プレートに表記されている運転電圧が、ご使用になる電源の電圧と同一にしてください。型式プレートは吸引装置上部の背面に貼付されています。

- 適切に装備された電源コンセントに電源ケーブルのプラグを差し込みます。

電源延長ケーブルを使用する際は、ケーブルの最小導体断面積に注意してください。

ケーブルの長さ	導体断面積
最大 20 m	1.5 mm^2
最大 50 m	2.5 mm^2

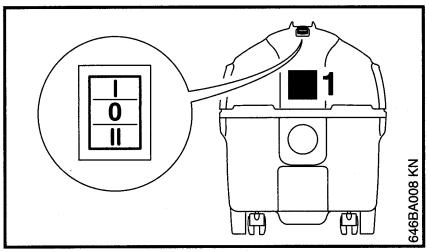


SE 61

スイッチの設定

0 = バキュームクリーナーがオフ

I = バキュームクリーナーがオン



SE 61 E

他の機械 (最大 2600 W) を接続する場合は、下記を使用します

1 = 装置のコンセント。

スイッチの設定

0 = バキュームクリーナーがオフ、装置のコンセントを使用できません。

I = バキュームクリーナーがオン、装置のコンセントを使用できません。

II = 装置のコンセントに接続された装置は、自動スィッチ機能でバキュームクリーナーの電源のオンとオフを切り替えます。

バキュームクリーナーの消費電力は、電子回転数制御機構付き装置使用時には、自動的に調整されます。

乾燥した物質の吸引

乾燥した物質の吸引には、フィルターバッグを使用してもしなくてもかまいません。

フィルター バッグを使用すると、吸引した物質を簡単に廃棄できます。

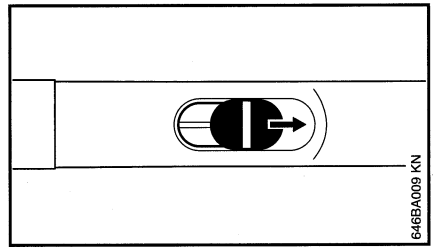
液体の吸引

液体吸引前の準備

- 常にフィルター バッグを外します
- **フロートが正しい位置にあるか確認します**
- **フィルター カートリッジが正しい位置に取り付けられているか確認します。**

可燃性液体を吸引しないでください。
コンテナが一杯になると、気流がフロート式スイッチで停止されます。

液体を吸引すると、フィルター エレメントが湿ります。湿っているうちに乾燥した物質を吸引すると、フィルター エレメントが詰まりやすくなります。この理由から乾燥した物質を吸引する前に、必ず湿ったフィルター エレメントは乾燥するか、乾燥したものと交換してください。



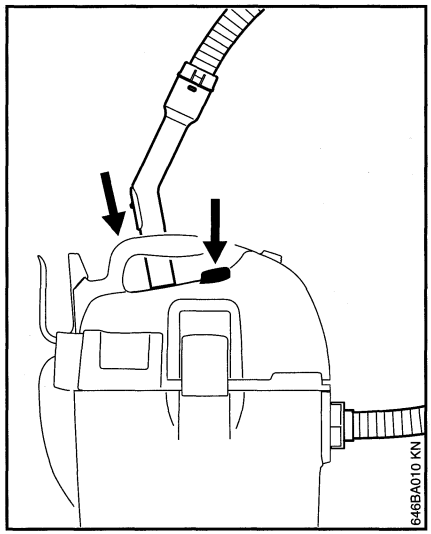
吸引力の調整

軽いカーペットなどを床から持ち上げないように、吸引力を調整できます :

- ハンドル チューブのスライドを開きます

フィルター エレメントの掃除

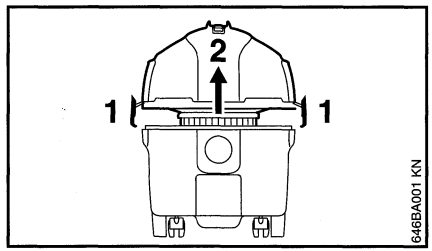
- ハンドル チューブのスライドを閉じます。
- バキュームクリーナーのスイッチをオンにします。



- ハンドル チューブをバキュームクリーナー上部の背面にしっかり押し込んで、吸引ホースをハンドル チューブに密着させます。
- フィルター掃除ボタンを 3 回押します。

こびり付いた粉塵をこの方法でフィルター エレメントから取り除きます。

コンテナを空にする



- 機械のスイッチを切ります
- 機械のプラグをコンセントから外します

1 = クリップを外します

2 = バキュームクリーナー上部を上に持ち上げて外します

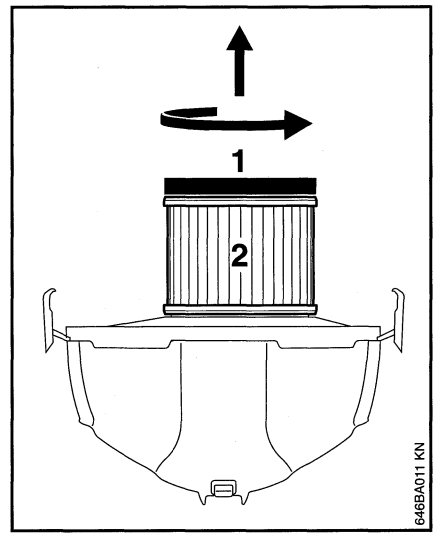
フィルター バッグなしで乾燥した物質を吸引する場合、および液体を吸引する場合：

- コンテナを空にして、容器の内容物を規制にしたがって廃棄してください
- バキュームクリーナー上部を再び取り付けます

フィルター バッグを取り付けて、乾燥した物質を吸引する場合：

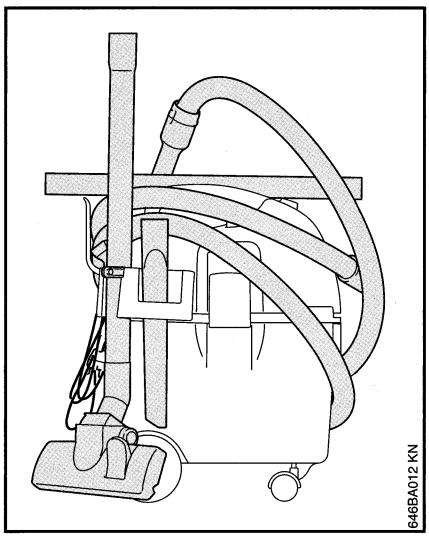
- フィルター バッグ スリーブを吸引ポートから引き抜き、フィルター バッグ スリーブの吸引調整口をスライドで閉じます
- 慎重にフィルター バッグをコンテナから外して、法定規則に従って廃棄してください
- 新しいフィルター バッグを取り付けて、バキュームクリーナー上部を再び取り付けます

フィルター エレメントの交換



- 電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。
- バキュームクリーナー上部を外して、さかさまにします。
- カバー (**1**) を矢印の方向に回して、外します。
- フィルター エレメント (**2**) を外して、法定規則にしたがって廃棄します。
- 新しいフィルター エレメントを上記と逆の手順で取り付けます。
- バキュームクリーナー上部を再び取り付けます。

バキュームクリーナーを使用しない場合



磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の記述を遵守して使用すると、本装置の過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機は、本取扱説明書の記載に従って使用、修理および保管してください。

特に以下の場合の様に、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容及び警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷に付いては、ユーザーが責任を負います：

- 弊社が承認していない製品の改造
- 本装置への取付けを許可されていない、適していない、または品質が劣ったアクセサリーの使用
- 本装置の不適切な使用
- スポーツあるいは競技等の催し物に本装置を使用
- 欠陥部品を装着した装置の使用による損傷
- 不適切な電源での操作による損傷

整備作業

「整備と保守に関する注意事項」のセクションに記載されているすべての作業を定期的に実行してください。ユーザーがこれらの整備作業を実施できない場合は、スチール サービス店に依頼してください。

当社では、整備および修理をスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店では、定期的にトレーニングを受け、技術情報を受け取っています。

これらの作業を正しく実施しなかったり、まったく実施しなかった場合、損傷はユーザーの責任です。これには、下記が含まれます：

- 適切な時期に、または適正に整備されなかった場合の、本機構成部品の派生的損傷
- 不適切な保管に起因する腐食並びにその他の派生的損傷
- 品質の劣った交換部品を装着した装置の使用による派生的損傷

故障の修理

磨耗部品

バキュームクリーナーの部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。
上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- フィルター エレメント、フィルター バッグ

トラブル：モーターが起動しない

原因	処置
電源ブレーカーが遮断されている	電源ブレーカーを点検して、再び接続する

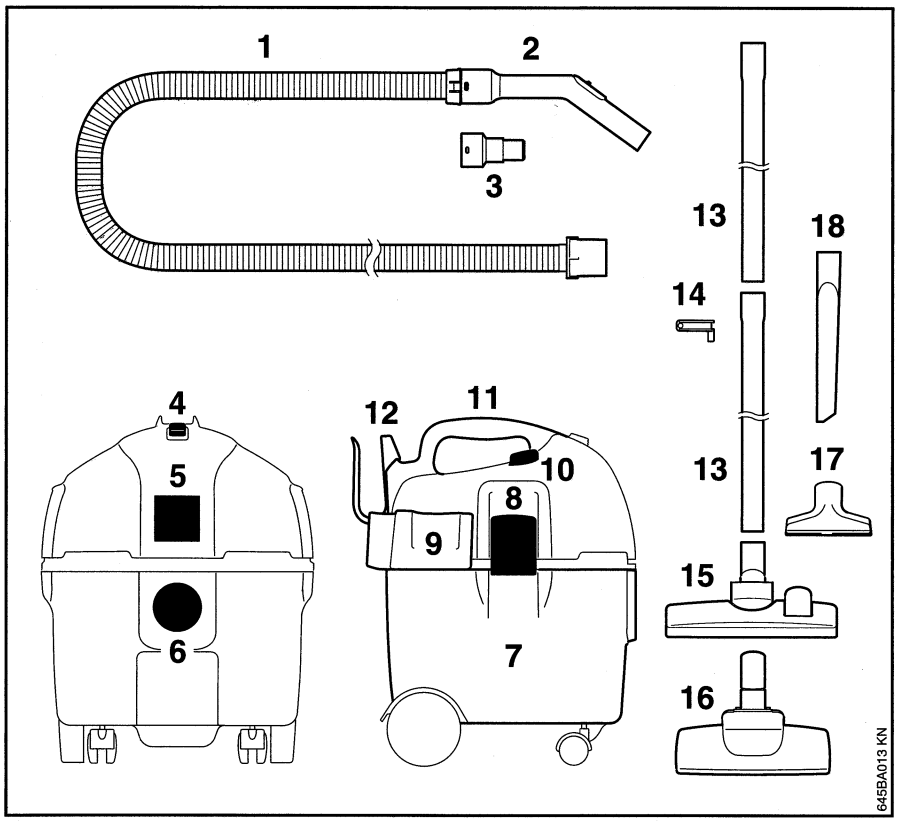
トラブル：吸引力が低下している

原因	処置
フィルター バッグが一杯になっている	「コンテナを空にする」を参照
吸引ホースが詰まっている	吸引ホースを掃除する
フィルター エレメントが詰まっている	「フィルター エレメントの交換」を参照

トラブル：液体吸引時に吸い込まない

原因	処置
コンテナが一杯になっている（フロートが吸引調整口を閉じている）	「コンテナを空にする」を参照

主要構成部品



1 = 吸引ホース
2 = ハンドルチューブ
3 = バキュームクリーナー用コネクター [1)]
4 = スイッチ
5 = 電源コンセント [1)]
6 = 吸引ホース用コネクター
7 =コンテナ
8 =クリップ
9 =ツールとアクセサリーの取付け部
10 =フィルタークリーニングボタン
11 =ハンドル
12 =吸引ホース用ホルダー
13= バキューム チューブ
14= バキューム チューブ用ホルダー
15= 多用途アタッチメント [1)]
16= バリオ フロアー アタッチメント [2)]
17= 汎用アタッチメント
18= 隙間用アタッチメント

[1)] SE 61 E 用のみ
[2)] SE 61 用のみ

技術仕様

電圧	100 V
周波数	50 ～ 60 Hz
消費電力	
- 最大	1200 W
- EN 60335-2-2 による	1000 W
ヒューズ	13 A
保護クラス SE 61	2
保護クラス SE 61 E	1
保護タイプ	IP X4
最大吸引量 (空気)	3600 l/ 分
最大吸引圧	180 mbar
長さ (約)	370 mm
幅 (約)	375 mm
高さ (約)	500 mm
吸引ホース	
- 長さ	2.5 m
- 直径	32 mm
コンテナ容量	20 l
重量 (約)	6 kg
騒音レベル、距離 1 m	70 dB (A)

整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。
それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理をすべて認定スチール サービス店に依頼されることをお勧めします。
スチール サービス店では定期的にトレーニングを受け、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社がこのバキュームクリーナーへの使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故や本機の破損を回避してください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、ロゴマーク STIHL® およびシンボル マーク ® が刻印されています。小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。

CE 適合証明書

Andreas Stihl AG & Co. KG
Badstr. 115
71336 Waiblingen

は、下記の新型機械が

製品名：	バキューム クリーナー
メーカー名：	STIHL
型式：	SE 61、 SE 61 E
機械番号：	4758

指示書 98/37/EC、89/336/EEC、および 73/23/EEC 仕様に適合していることを証明します。

この製品は次の規格に準拠して開発、製造されました：
EN ISO 12100-1、EN ISO 12100-2、
EN 60335-1、EN 60335-2-2、
EN 55014-1、EN 55014-2、EN 61000-3-2

2005 年 11 月 30 日 Waiblingen にて発行

Andreas Stihl AG & Co. KG
i.V.

Steinhauser
取締役
製品管理グループ

品質証明書

スチールの全製品は、最高の品質要求規準に適合しています。

スチール社の全製品は、製品の開発、素材の購入、製造、組立て、文書管理、顧客サービスにおいて、品質管理システム ISO 9001 の厳しい要求に適合していることを独立した機関が証明しました。